

5604-0491 HD グリッピング ステーション

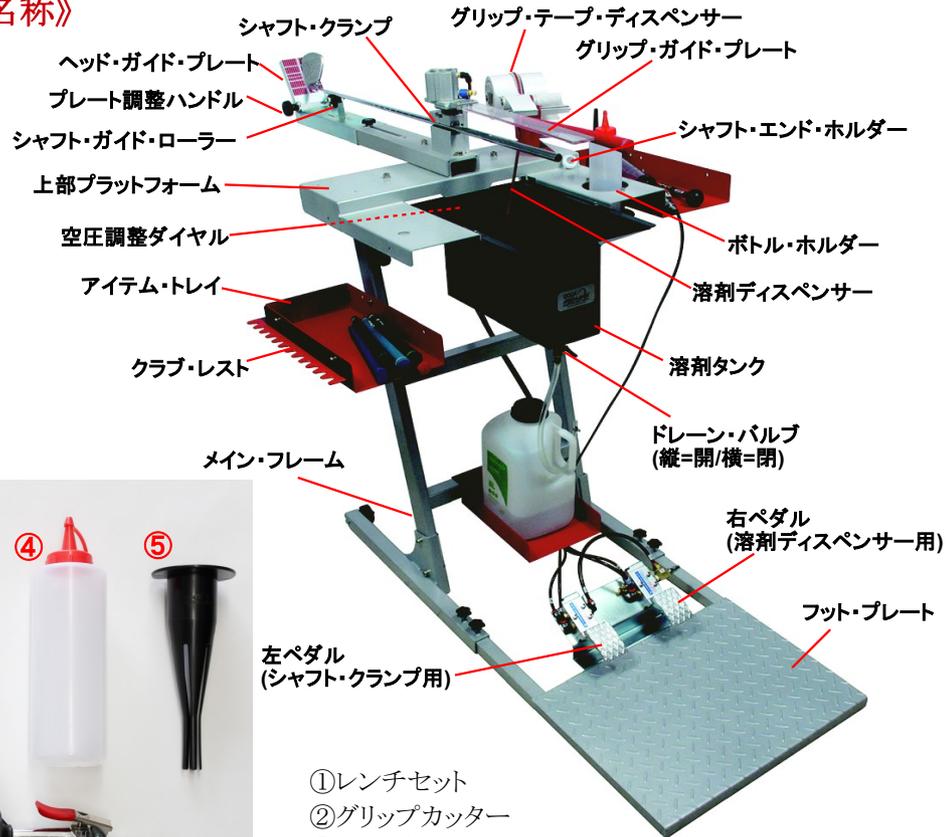
取扱説明書

《製品の概要》

大規模工房・クラブ組立工場等向けの産業用グリッピング ステーションです。空圧駆動クランプ、空圧グリッパー、空圧溶剤吐出口、グリップテープ ディスペンサー、空圧操作用ペダルを装備し、空圧グリッパーは、グリップ挿入・抜き取り双方で、グリップを傷めることなく、スムーズな作業が可能です。各種用品をストック可能なトレイを備え、高さやスタンド・ステップ位置の調整機能により、作業者に合わせて設定できます。ハイカプラ(20PPF)を備えた、930kPa(9.5kgf/cm²)以上の空圧出力を備えたエアコンプレッサーが別途必要になります。

※本説明書や説明動画内の製品仕様は、一部、実際の商品と異なる場合がありますので、ご了承下さい。

《製品構成/各部の名称》



《同梱品の確認》



- ① レンチセット
- ② グリップカッター
- ③ テープ・スクレイパー
- ④ 溶剤ボトル
- ⑤ グリップ・インストーラー
- ⑥ エア・グリッパー&チューブ
- ⑦ 別型ソケット用カップリング
- ⑧ ドレイン・バルブ
- ⑩ ボトル・ホルダー用ネジ
(小ネジ*4/小ワッシャー*4/チューブ*2/円形プレート)
- ⑪ アイテム・トレイ固定用ネジ(中ネジ*2/小ワッシャー*2)*2セット
- ⑫ クラブ・レスト用ネジ(大ネジ*2/大ワッシャー*2/ナット*2)

グリップ装着時、ご用意頂くもの

- グリップ・テープ
クレープ紙= BF01J: 幅20mm×33m、BF01K: 幅50mm×33m
和紙= 6766-0001: 幅20mm×5m、6766-0002: 幅20mm×10m、6766-0003: 幅20mm×30m、6766-0004: 幅50mm×30m
- グリップ溶液
LG03: グリップ交換溶液エアゾール 100ml、GV0691: グリップ交換液180ml、LG398: グリップ交換溶液エアゾール 480ml、LG398: グリップ交換溶液 業務用1000ml等)

グリップ再利用のための抜き取り時、ご用意頂くもの

- 再利用する場合 5604-0041: グリップ・リムーバー・スティック、5650-0001: グリップリムーバーガン等のいずれか)

※以下の組立や使用方法については、添付CD内及び弊社WEB(<https://www.geotechgolf.com/catalog/link.asp?no=5604%2D0491&cate=it&namea=>)の動画もご参考になさって下さい。

《設置・組立方法》

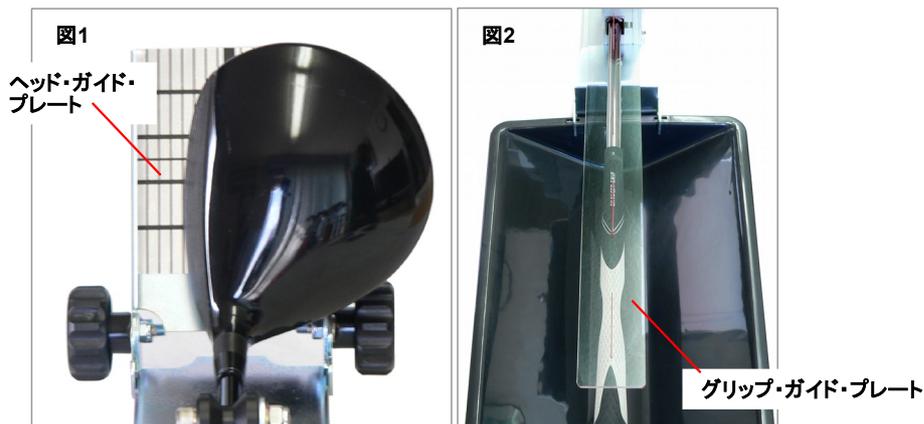
- (1) 別添の組立図解を参照し、メインフレームとフット・プレートを組み立ててから、上部プラットフォームを固定して下さい。その後、ヘッド・ガイド・プレート部や溶剤タンク、テープ・ディスペンサーやアイテム・トレイ等を組み付けます。
- (2) 特に記載のないネジについては、スタンドや本体の当該箇所に仮留めされています。エア・コンプレッサーや、空圧器具用のエア・ホースは、各端部の区別を参考に、接続して下さい。
- (3) 溶剤タンク底部には、ドレイン・バルブを取り付けてから、ホースを接続します。

※※ 使用上の注意 ※※

- ・ご使用の際には、万一の事故防止のため、防護手袋や長袖の着衣により、身体を保護した上で、作業して下さい。
- ・グリップ溶液の取扱いには、十分ご注意ください。溶液を再利用する場合、グリップテープの粘着剤の種類によっては、粘着成分が溶液中に溶け出し、再利用に適さない場合もありますので、再利用される前に、ご確認ください。

《グリップ装着作業》

- (1) 左ペダルを踏み、シャフト・クランプを開いた状態で、ヘッドを接着したシャフトをシャフト・ガイドの下側を通して、クランプの中央に置き、ヘッド・ガイド・プレートをヘッドで押しながら、グリップ挿入部分が、溶液受け皿上に来るように、クランプする位置を調整します。グリップ・ガイド・プレートは、作業の邪魔にならない方向に向けておきます。
- (2) シャフトをシャフト・ガイドの上に置き、図1のように、ヘッド・ガイド・プレートの目盛を利用して、フェイスの向きを調整します。必要に応じて、ヘッド・ガイド・プレートの角度を調整し、最適な角度で向きを合わせたら、左ペダルから足を離して固定します。
- (3) グリップの長さを計測した上で、グリップ先端をシャフトのどの部分まで挿せばよいか確認し、先端よりも約1～2cm、バット側にマーキングした上で、シャフトの表面を脱脂し、グリップ・テープをバット端からマーキング箇所まで貼り付けます。貼り付け方法は、螺旋巻きや折り返し等、テープの幅や必要なグリップの太さに応じて異なります。(詳しくは、<http://www.geotechgolf.com/dg/manual/tejun11.html>をご覧ください)
- (4) グリップのエンドキャップの穴を指で押さえて、グリップを溶剤ディスペンサーに挿し、右ペダルを操作してグリップ溶液をグリップ内部に噴射し、内部にまんべんなく行き渡らせます。
- (5) シャフトのグリップ・テープ全体に溶液をかけ、すばやくグリップを装着します。エア・グリッパーを利用すると容易に装着可能です。装着後は、グリップの伸縮を直し、図2のように、グリップ・ガイド・プレートをシャフト軸に合わせて、グリップのマーキング等がガイド・プレートのラインに一致しているか確認し、必要に応じて修正して下さい。ガイド・プレートのラインには、立体的な色付けがされており、最も細く見える位置が正しい視点になります。バットエンドが大きいシャフトやグリップ先端の内径が小さなグリップでは、付属のグリップ・インストーラーを使用すると、スムーズに装着できます。
- (5) エンドキャップまでしっかりと挿入されているか、事前に計測した長さで挿入されているか等、確認した上で、グリップ先端やエンドキャップをグリップ溶液で清掃し、乾燥させて完成です。

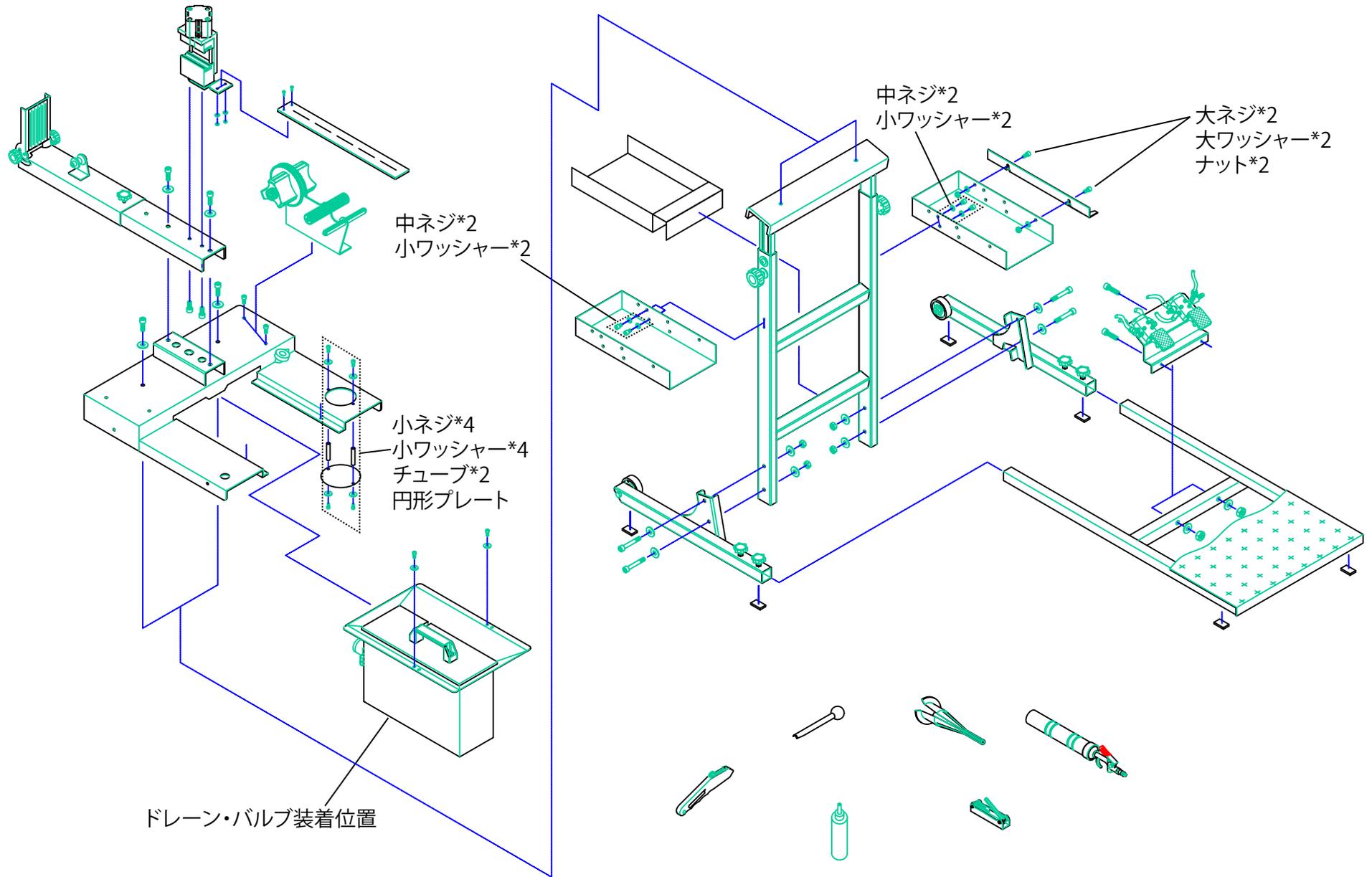


《グリップ切除・抜き作業》

※グリップ切除については、付属のグリップカッター使用方法を、グリップ抜きについては、エアーコンプレッサー式グリップリムーバー(5604-0231)=付属エア・グリッパーの各取扱説明書をご参照下さい。いずれの作業においても、本品を用いることで作業性が格段に向上します。

組立図解

5604-0491 HDグリッピングステーション



《製品の概要》

安全且つ確実にグリップを切除出来る業務用グリップカッターです。
作業中、一貫してブレードを正しく安全な向きで保持できるよう、グリップの角度を工夫し、持ち易さと安全性、作業効率の向上を両立しています。

《※※ 使用上の注意 ※※》

- ・ご使用前に、《作業方法》、《ブレード交換方法》をご確認頂き、ブレードの刃の向きに注意して作業して下さい。
- ・グリップの切除には、通常、フック・ブレードを使用して下さい。それ以外の各種用途には、ストレート・ブレードを使用して下さい。
- ・スピア・ブレード格納部を開く際は、ブレードの飛び出しや怪我にご注意下さい。

《製品構成/各部の名称》



同梱品

- 本体 (下記一方を装着済)
- フック・ブレード
- ストレート・ブレード

交換用 別売部品

交換用フック・ブレード(10枚入) (#5604-0222)

作業イメージ



《作業方法》

※注意事項※ 作業時は必ず、作業イメージのように刃を身体から離す方向に作業して下さい。また、作業時に強化繊維等を使用した耐突刺・切裂手袋を装着する等、万々に備えて防護品をご利用下さい。

- ◎シャフトをシャフト・クランプ等で固定した上で、グリップ先端側からグリップ・エンドに向けてブレードを操作し、グリップを切断して下さい。切断した箇所から両側に開いて剥がし、グリップを取り除きます。シャフトに残ったグリップ・テープの除去には、専用の除去器具(5604-0101)やスクレイパーをご利用下さい。

《ブレード交換方法》

※注意事項※ ブレードは鋭利な刃部を備えています。交換時は必ず、手袋をしてブレードを触って下さい。下記では、例としてフック・ブレードからストレート・ブレードへの交換を説明しています。逆の場合も同様です。使用済みのブレードは、各自治体の指定の方法に従って、処分して下さい。

- ① ブレード操作ノブを動かし、使用状態にします。
- ② ブレード固定解除ボタンを押しながら、ブレードをゆっくり抜き取って下さい。
- ③ ブレード固定解除ボタンを押しながら、ブレードを取り付けます。ブレード固定解除ボタンを一旦離し、ブレードにガタ付きが無いが、確認して位置を調整して下さい。
ストレートは、2段階、フックは3段階の位置調整が可能です。
- ④ ブレード操作ノブを元の位置に戻して、ブレードを収納します。

格納部開口イメージ

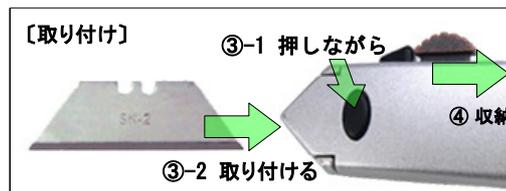
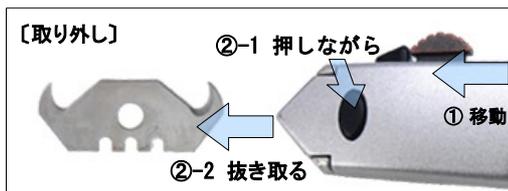


【取り付け後】※使用時

フック・ブレード



ストレート・ブレード

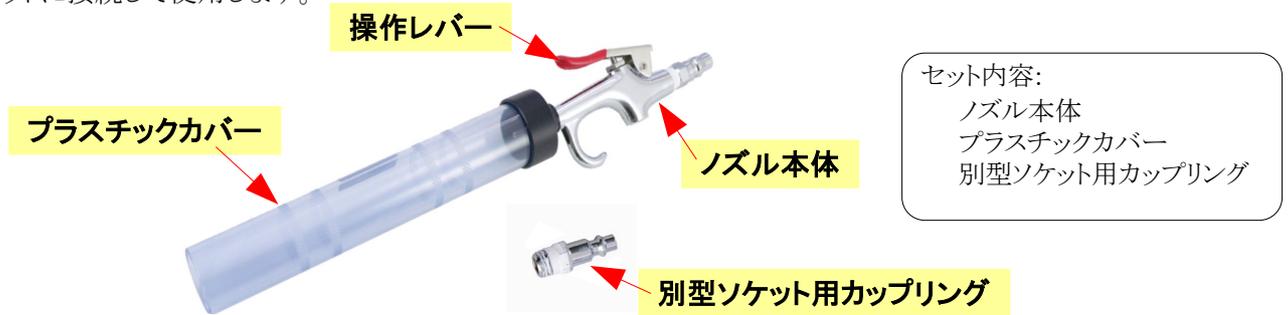


5604-0231 グリップリムーバー (エアコンプレッサー式)

取扱説明書

空気圧を利用してグリップ抜きをスピーディに！

汎用のエアコンプレッサーを利用して、グリップとグリップテープの間にエアを送り込み、テープから剥がして抜き取ります。グリップに針を刺さず、グリップ溶液も使用せず、迅速に抜き取ることが出来ます。ハイカプラ(20PPF)用のソケットに接続して使用します。



【注意事項】—ご使用前に必ずお読み下さい—

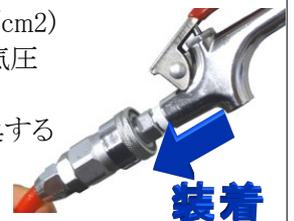
- 本品を用いてグリップ抜きを行う場合は、ヘッド抜きの前に行ってください。シャフト先端が塞がれていないと、使用できません。
- グリップの材質、劣化度合い、エンドキャップ穴の径によっては、グリップ抜きが不可能な場合や、グリップが破損する場合があります。
- グリップ抜きの前に、十分にグリップを温めて下さい。
- 空気を送り込む際は、ゆっくり、徐々に圧力を高めて下さい。急激に高めると、グリップの一部だけが膨らみ、破裂、裂けを引き起こし、非常に危険です。安全のため、必ず、プラスチックカバーを使用して下さい。

【使用方法】

■ソケットへの接続

ハイカプラ(20PPF)用のソケットにしっかりと最後まで装着し、空気圧は、200～240kPa(2.0～2.4kgf/cm²)でご使用下さい。空気圧が弱すぎると、グリップテープからグリップを剥がすことが出来ず、逆に、空気圧が強すぎると、グリップが剥がれる前に破損してしまいますので、十分にご注意下さい。

ソケットが適合しない場合は、付属の別型ソケット用カップリングもお試し下さい。カップリングを交換する際は、ねじ山に市販のシールテープを締付け方向に2周程度巻きつけてから、締め込んで下さい。



1 グリップテープが剥がれやすいよう、グリップ全体をヒートガン等で温めて下さい。

クラブをクランプ等で固定し、グリップにプラスチックカバーを通します。

グリップエンドキャップの穴に、本体のノズルを挿し込みます。

グリップテープで穴が塞がれている場合、テープを破らないようにして下さい。



2 本体に、プラスチックカバーをセットして、グリップ先端側を指で押さえながら、本体の操作レバーを少しずつ押して、空気を送り込んでいきます。

急激に送り込むと、グリップの一部だけが膨らみ、破裂する場合がありますので、徐々に圧力を高めて下さい。



3 グリップ先端側を指で塞ぐ等、空気が満遍なく行き渡らせたなら、空気を送り込みながら、ゆっくりグリップを引き抜きます。

どうしても剥がれない箇所がある場合は、一旦、プラスチックカバーを抜き、温める等、テープを剥がれやすくして、再度お試し下さい。